



令和6年12月13日  
一般財団法人 地域創造

## 令和6年度地域創造大賞（総務大臣賞）受賞施設の決定について

(一財)地域創造では、令和6年度地域創造大賞（総務大臣賞）の受賞施設を以下の5施設に決定しました。

### 1 受賞施設

- |                       |          |
|-----------------------|----------|
| ○鶴岡市文化会館（荘銀タクト鶴岡）     | 【山形県鶴岡市】 |
| ○富山県美術館               | 【富山県】    |
| ○黒部市美術館               | 【富山県黒部市】 |
| ○岐阜県県民ふれあい会館 サラマンカホール | 【岐阜県】    |
| ○神戸文化ホール              | 【兵庫県神戸市】 |

### 2 表彰式

日時 令和7年1月17日（金）14:00～14:50  
会場 グランドアーク半蔵門 華の間（東京都千代田区隼町1-1）

### 3 地域創造大賞（総務大臣賞）について

- この賞は、地域における創造的で文化的な表現活動のための環境づくりに特に功績のあった公立文化施設を顕彰し、全国に広く紹介することにより、公立文化施設のさらなる活性化を図り、美しく心豊かなふるさとづくりの推進に寄与することを目的として、平成16年度に創設されたもので、今年度が21回目の表彰です。
- 受賞施設は、全国の地方公共団体から応募があった施設について、以下の基準を設け、専門家で構成する地域創造大賞審査委員会（委員長：吉本光宏氏／合同会社文化コモンズ研究所 代表・研究統括）において審査を行い、その結果を受けて決定しました。

## 4 審査基準

- (1)地方公共団体等が、文化・芸術による地域振興やふるさとづくりという地域を豊かにするための行政の目的に沿った芸術文化振興ビジョンや公立文化施設の理念、使命を持ち、それを達成するための施設運営がなされているかどうか
- (2)先進性、テーマ性を有する自主企画作品の制作、公演や自主企画展覧会の開催等創造的な活動に取り組むとともに、内外の優れた作品の鑑賞機会の提供に意欲的に取り組んでいるか
- (3)地域住民の文化・芸術活動の育成支援、教育普及活動、住民参加・参画など地域住民との協働(コラボレーション)に意欲的に取り組んでいるか

など

### 地域創造大賞（総務大臣賞）審査委員

役職	氏名	所属等
委員長	吉本 光宏	合同会社文化commons研究所 代表・研究統括
委員長代理	坪池 栄子	株式会社 文化科学研究所 編集プロデューサー
委員	河内 隆	一般財団法人 地域創造 理事長
委員	小林 真理	東京大学大学院人文社会系研究科 教授
委員	仲道 郁代	ピアニスト
委員	柳沢 秀行	公益財団法人 大原芸術財団 シニアアドバイザー
委員	若林 朋子	プロジェクト・コーディネーター 立教大学大学院社会デザイン研究科特任教授

※委員長、委員長代理以下、五十音順

問合せ先  
一般財団法人 地域創造  
北代、今野  
TEL：03-5573-4066

## —受賞施設紹介—

### 鶴岡市文化会館（荘銀タクト鶴岡）【山形県鶴岡市】



#### ◎ “まちなか文化施設”として地域に活力

市中心にある鶴ヶ岡城址そばに旧文化会館の建て替えにより誕生。市民の集いの場となる開放的な回廊とワインヤード型の大ホールを有し、県庄内南部の中核施設として本格的な鑑賞事業を行うほか、街なかと連携した「タクトのちいさな映画祭」や施設を開放する多彩な催しを実施。アウトリーチや支援の必要な人への鑑賞サポートにも取り組むなど、文化による新たな交流を創出した。

運営：タクトつるおか共同企業体

開館：2018年

### 富山県美術館【富山県】



撮影：小杉善和

#### ◎ “交流型美術館”として新境地

前身の富山県立近代美術館から優れた20世紀美術やデザインのコレクション、教育普及事業を引き継いで新築・移転。賑わいの創出を目指し、遊具のある屋上庭園や気軽に創作できるアトリエなどの無料空間を整備。良質なコレクション展や企画展などに加え、“アートの遊び場”として楽しみながら美術に触れる機会を創出し、交流型の新たな美術館のあり方を提示した。

運営：富山県/公益財団法人富山県文化振興財団

開館：2017年

### 黒部市美術館【富山県黒部市】



#### ◎ “地域とつながる美術館”として新境地

人口約39,000人の黒部市にある小さな美術館として、地域全体を展示場として捉える屋外展示や近隣施設と連携したサテライト展示を展開。現代作家が地域をリサーチした独自の展示会やYouTube配信を含む屋外展示作品《infinity～mirage》などにより豊かな地域発見を牽引。子どもたちへの出前授業にも意欲的に取り組み、地域とつながる美術館として新たな道を拓いた。

運営：公益財団法人黒部市国際文化センター

開館：1994年

### 岐阜県県民ふれあい会館 サラマンカホール【岐阜県】



#### ◎ “専門性と地域性”の両立を実現

世界的オルガン建造家・辻宏製作によるパイプオルガンを備えた比類のないクラシック音楽専門ホール。一流の音楽家の鑑賞機会を提供するだけでなく、地域の音楽家の起用、子どものためのオペラ、0歳からのコンサート、少年少女合唱団、安価な料金の「フラットシリーズ」、弦楽器貸与事業など、普及・育成事業を意欲的に展開。専門性と地域性の両輪により、音楽文化の振興と普及に貢献した。

運営：ふれあいファシリティズ

開館：1994年



◎ “文化のホームグラウンド”として尽力

吹奏楽やダンスなど学校や市民の文化活動の拠点となり、全国洋舞コンクールの会場としても親しまれてきた神戸の文化振興のシンボル。演劇・ダンスのプロデュース公演のほか、ホール専属の室内管弦楽団と混声合唱団を有し、定期演奏会、地域コンサート、アウトリーチなどを意欲的に展開。また、国際フルートコンクールにも取り組み、50年の長きにわたり文化による地域づくりに貢献した。

運営：公益財団法人神戸市民文化振興財団

開館：1973年